

第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系(案)

◎総合戦略(本体)は本表内容を転記・調整の上、作成いたします(ただし、「冒頭の総論部」及び基本目標毎の取組方針「基本的方向性」は政策部で追加掲載)

◎体系としては、【①基本目標 > ②基本的方向性(基本目標毎の総論部) > ③主要施策・KPI > ④具体的取組(関連のある個別計画も記載)】を予定しています。

資料2 (未定稿)

検討状況		①基本目標	③主要施策	③KPI(重要業績評価指標)											④具体的取組(事業)		
○×△	理由	基本目標 ナンバ ①新たな雇用を生み出す ②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する ③安心して出産し子育てできるまちをつくる ④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	主要施策 ナンバ ◆基本目標①のKPI◆	KPI ナンバ 1	KPI 担当課 商工 労働課	KPI 生産年齢人口に占める就労者数の割合(%)	成果指標の出典等 安曇野市の統計(生産年齢人口)工業統計調査(就労者数)	各年度目標値							5か年累計	事業担当課	KPI達成に向けた具体的な取組み
								事業開始前(基準値)	R2実績(1年目)	R3実績(2年目)	R4実績(3年目)	R5実績(4年目)	R6実績(5年目)				
		1	◆基本目標①のKPI◆	1	商工労働課		安曇野市の統計(生産年齢人口)工業統計調査(就労者数)	20.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	2.5%			
		1	◆基本目標①のKPI◆	2	農政課	認定農業者数(人)	農政課調	280	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持			
		1	①新たな雇用を生み出す	1	商工業の振興	3	商工労働課	新規起業家数(人)	商工労働課調	0	2	3	3	3	3	14	商工労働課 ○空き店舗が増加し、商店街の衰退が深刻になる中で、賑わいを少しでも取り戻すために、雇用を生み出す事業者の創出を図ります。 ○企業が必要とする人材の育成について、官民共同で取り組みます。
		1	①新たな雇用を生み出す	1	商工業の振興	4	商工労働課	企業誘致数(社)	商工労働課調	0	0	4	1	1	1	7	商工労働課 ○企業の誘致や市内企業が事業拡大のために展開できる工場用地の空き区画がない状況であるため、新たな工場用地を造成し、新たな雇用の拡大に取り組みます。
		1	①新たな雇用を生み出す	1	商工業の振興	5	商工労働課	テレワークセンター登録者数(人)	商工労働課調	20	20	20	20	20	20	100	商工労働課 ○新たな働き方の一つとして、テレワークセンターを活用した就労環境の整備に取り組みます。
		1	①新たな雇用を生み出す	2	観光の振興・戦略的な地域ブランドの創出	6	観光交流促進課	観光消費額(億円)	観光入込客統計(観光庁)	126(平成30年)	8	4	4	4	4	24	観光交流促進課 【観光地経営・人材育成】 ○持続可能な観光地経営を進めるため、観光推進組織や事業者の中心となる人材育成と体制づくりに取り組みます。 ○観光事業者とその他の事業者との連携を強化を支援し、域内調達を促し、観光による地域経済への波及効果を高めます。 ○訪日外国人や若年層のニーズへ対応や、登山や自転車、まちあるきなどの体験型観光を担う、各種ガイドの育成に取り組みます。 【受け入れ体制整備】 ○登山愛好者などを対象にクラウドファンディングやふるさと納税などを活用し、北アルプスパノラマ銀座の環境整備や受け入れ体制整備に取り組みます。 【体験型観光の推進】 ○北アルプス登山や天蚕など、訪日外国人にも選ばれる体験型観光の発掘と磨き上げに取り組みます。 【滞在周遊型観光の推進】 ○穂高駅周辺やしゃくなげの湯周辺、かじかの里公園など、来訪者の多い観光地の周遊機能の強化や、おもてなし向上を図り、観光地としての来訪者の満足度向上に取り組みます。 ○自転車を活用した周遊観光の推進や、県と連携し「やまびこ自転車道」等の活用による広域自転車ルートの設定等に取り組みます。 【天蚕振興】 ○日本の絹産業の中でも稀な天蚕業の技術継承及び人材の育成と、若手創業者の活用や、異業種、地域を超えた事業者間連携による新ブランド・新商品の開発等により、創造性あふれる新たな産業づくりに取り組みます。 ○安曇野の天蚕の歴史・文化を掘り起し、市民や訪日外国人を含めた来訪者への情報発信を行い、「天蚕のふるさと」として地域ブランドの確立に取り組みます。 ・絹製品愛好者などを対象にクラウドファンディングやふるさと納税などを活用し、飼育環境の整備や、人材育成に取り組みます。

第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系(案)

◎総合戦略(本体)は本表内容を転記・調整の上、作成いたします(ただし、「冒頭の総論部」及び基本目標毎の取組方針「基本的方向性」は政策部で追加掲載)

◎体系としては、【①基本目標 > ②基本的方向性(基本目標毎の総論部) > ③主要施策・KPI > ④具体的取組(関連のある個別計画も記載)】を予定しています。

検討状況		①基本目標		③主要施策		③KPI(重要業績評価指標)										④具体的取組(事業)		
○×△	理由	基本目標 ナンバ	基本目標 ①新たな雇用を生み出す ②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する ③安心して出産し子育てできるまちをつくる ④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	主要施策 ナンバ	主要施策	KPI ナンバ	KPI 担当課	KPI	成果指標の出典等	各年度目標値						5か年累計	事業担当課	KPI達成に向けた具体的な取り組み
										事業開始前(基準値)	R2実績(1年目)	R3実績(2年目)	R4実績(3年目)	R5実績(4年目)	R6実績(5年目)			
		1	①新たな雇用を生み出す	2	観光の振興・戦略的な地域ブランドの創出	7	観光交流促進課	外国人延べ宿泊者数(人)	(観光交流促進課調)外国人延泊者数調査(市独自統計)	21,200(平成29年)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	観光交流促進課	(KPI 6 と同一)
		1	①新たな雇用を生み出す	3	農林水産業の振興	8	農政課	新規就農数(人)	農政課調	12	10	10	10	10	10	50	農政課	○農家の高齢化と減少による農地の遊休荒廃化を防止するため、新たな農業者を確保育成する必要がある。就農相談会や、支援制度の活用で農業者を確保する。 ○農業経営にICTを導入し、作物の生産管理や作業現場でのムダを改善していきながら、収穫量の向上や経営者及び従業員の人材育成など、経営の効率化について検証します。
		1	①新たな雇用を生み出す	3	農林水産業の振興	9	耕地林務課	林業従事者数(人)	林業事業体調査(長野県)	53	1	1	1	1	0	4	耕地林務課	○木材価格の低迷により、林業の担い手の減少など、林業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。一方で公益的機能を発揮する森林には適切な森林の管理が求められています。 ○健全な森林の維持と多面的機能を保持するため、林業事業体の育成による林業の担い手を増やす取組を推進。具体的には、市有林の森林整備、松くい虫被害対策の業務委託、また、森林環境譲与税による私有林の森林整備などにより、林業事業体の支援を実施します。
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する		◆基本目標②のKPI◆	10	政策経営課	社会増減数(人/年間)	長野県毎月人口異動調査	262(H30)	300	300	300	300	300	1500		
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	4	移住・定住の促進	11	政策経営課	移住支援による移住者数(人)		65	5	5	5	5	5	25	政策経営課	○首都圏での移住セミナーや移住希望者を対象とした市内体験ツアーを開催するほか、おためし住宅の利用促進、空き家バンク等を通じた空き家の利活用等を図り、移住定住を促進します。
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	4	移住・定住の促進	12	商工労政課	新規就労移住マッチング	商工労政課調	4	4	4	4	4	4	20	商工労政課	○「移住」の大きな要素に「職」は欠かせません。一方、小規模事業者の経営課題として、有能な人材の確保に不安を感じている事業者は年々増えていますがその解決策は見いだせていません。 ○移住の促進と小規模事業者の人材確保を図るため、大手人材派遣会社では埋められないニッチなマッチングを支援し両者の課題を克服してゆきます。



第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系(案)

◎総合戦略(本体)は本表内容を転記・調整の上、作成いたします(ただし、「冒頭の総論部」及び基本目標毎の取組方針「基本的方向性」は政策部で追加掲載)

◎体系としては、【①基本目標 > ②基本的方向性(基本目標毎の総論部) > ③主要施策・KPI > ④具体的取組(関連のある個別計画も記載)】を予定しています。

検討状況		①基本目標		③主要施策		③KPI(重要業績評価指標)										④具体的取組(事業)		
○×△	理由	基本目標ナンバ	基本目標 ①新たな雇用を生み出す ②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する ③安心して出産し子育てできるまちをつくる ④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	主要施策ナンバ	主要施策	KPIナンバ	KPI担当課	KPI	成果指標の出典等	各年度目標値							事業担当課	KPI達成に向けた具体的な取組み
										事業開始前(基準値)	R2実績(1年目)	R3実績(2年目)	R4実績(3年目)	R5実績(4年目)	R6実績(5年目)	5か年累計		
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	4	移住・定住の促進	13	学校教育課	コミュニティスクール		P	P	P	P	P	P	P	学校教育課	P
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	5	交流活動の推進	14	観光交流促進課	観光客の再来訪率(3回以上)(%)		73	増加	増加	増加	増加	増加	増加	政策経営課・観光交流促進課	○安曇野ファンを獲得するため、時事・旬をとらえたイベントの創出や、人気イベントの継続とその充実につとめ、リピーターを増やします。 ○社会貢献活動などを取り入れた観光体験プログラムを開発し、関係人口の創出につなげます。 ○姉妹都市や交流都市などのネットワークを活かし、市民間交流や情報発信により、広域観光の需要拡大を図ります。
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	5	交流活動の推進	15	農政課	農家民宿受入生徒数(人)	農政課調	1,350	50	50	50	50	50	250	農政課	○都市部の学校教育旅行等を農家民宿で受け入れ、安曇野の魅力を発信するとともに交流を深めることで、農村都市交流人口を創出します。
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	5	交流活動の推進	16	農政課	産直センター販売額(千円)	農政課調	13,000	500	500	500	500	500	2,500	農政課	○安曇野市産直センター業務を拡充し、首都圏のアンテナショップや友好都市を有効活用することで農産物等の消費を拡大します。 ○わさび、日本酒、りんごなど特産品の海外輸出に向けた取組みを進め、新たな販路を開拓します。
		2	②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	5	交流活動の推進	17	観光交流促進課	観光消費額(億円)	観光入込客統計(観光庁)	126(平成30年)	8	4	4	4	4	24	観光交流促進課	<再掲> 【観光地経営・人材育成】 ○持続可能な観光地経営を進めるため、観光推進組織や事業者の中心となる人材育成と体制づくりに取り組めます。 ○観光事業者とその他の事業者との連携を強化を支援し、域内調達を促し、観光による地域経済への波及効果を高めます。 ○訪日外国人や若年層のニーズへ対応や、登山や自転車、まちあるきなどの体験型観光を担う、各種ガイドの育成に取り組めます。 【受け入れ体制整備】 ○登山愛好者などを対象にクラウドファンディングやふるさと納税などを活用し、北アルプス/パノラマ銀座の環境整備や受け入れ体制整備に取り組めます。 【体験型観光の推進】 ○北アルプス登山や天蚕など、訪日外国人にも選ばれる体験型観光の発掘と磨き上げに取り組めます。 【滞在周遊型観光の推進】 ○穂高駅周辺やしゃくなげの湯周辺、かじかの里公園など、来訪者の多い観光地の周遊機能の強化や、おもてなし向上を図り、観光地としての来訪者の満足度向上に取り組めます。 ○自転車を活用した周遊観光の推進や、県と連携し「やまびこ自転車道」等の活用による広域自転車ルートの設定等に取り組めます。 【天蚕振興】 ○日本の絹産業の中でも稀な天蚕業の技術継承及び人材の育成と、若手創業者の活用や、異業種、地域を超えた事業者間連携による新ブランド・新商品の開発等により、創造性あふれる新たな産業づくりに取り組めます。 ○安曇野の天蚕の歴史・文化を掘り起し、市民や訪日外国人を含めた来訪者への情報発信を行い、「天蚕のふるさと」として地域ブランドの確立に取り組めます。 ○絹製品愛好者などを対象にクラウドファンディングやふるさと納税などを活用し、飼育環境の整備や、人材育成に取り組めます。



第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系(案)

◎総合戦略(本体)は本表内容を転記・調整の上、作成いたします(ただし、「冒頭の総論部」及び基本目標毎の取組方針「基本的方向性」は政策部で追加掲載)

◎体系としては、【①基本目標 > ②基本的方向性(基本目標毎の総論部) > ③主要施策・KPI > ④具体的取組(関連のある個別計画も記載)】を予定しています。

検討状況		①基本目標	③主要施策		③KPI(重要業績評価指標)										④具体的取組(事業)			
○×△	理由	基本目標 ナンバ ー	基本目標 ①新たな雇用を生み出す ②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する ③安心して出産し子育てできるまちをつくる ④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	主要施策 ナンバ ー	主要施策	KPI ナンバ ー	KPI 担当課	KPI	成果指標の出典 等	各年度目標値						5か年 累計	事業担 当課	KPI達成に向けた具体的な取組み
										事業開 始前 (基準 値)	R2実績 (1年 目)	R3実績 (2年 目)	R4実績 (3年 目)	R5実績 (4年 目)	R6実績 (5年 目)			
		3	③安心して出産し子育てできるまちをつくる	◆基本目標 ③のKPI◆	18	政策 経営 課	自然増減数 (人/年間)	長野県毎月人 口異動調査	△523 (H30)	現状 の水 準を 維持	現状 の水 準を 維持	現状 の水 準を 維持	現状 の水 準を 維持	現状 の水 準を 維持	現状 の水 準を 維持			
		3	③安心して出産し子育てできるまちをつくる	6	出産・子育て 支援の充実	19	政策 経営 課	出産・子育てが しやすいまちと 思う市民の割 合	市民意識調査	38.3	増加	増加	増加	増加	増加	増加	子ども 支援 課・健 康推 進課・ 政策 経営 課	(政策経営課) ○男女の出会いの機会となるイベントの開催、異性との接し方をテーマとしたセミナーの開催のほか、結婚相談窓口の設置やお見合いへの対応等、結婚を希望する方に寄り添う親身な対応により、成婚を目指します。  (健康推進課) ○不妊・不育症の治療を行っているご夫婦の負担軽減を図るため、治療に要した医療費の一部助成を継続します。  (子ども支援課) ○安曇野市の多様な自然環境や地域の環境を活かした幼児期の教育・保育を通じて、子どもたちの知的好奇心や感性を豊かに育むとともに、自尊心や自己肯定感の高い大人へと成長するための基礎を培うことにより、子どもの育ちと親の子育てを支援します。 ○孤立する家庭や育児に悩む親たちへの支援及び同世代の子どもたちを育児する親たちの仲間づくりを支援します。 ○公立認定こども園(18園)のすべての園で信州型自然保育(信州やまほいく)認定制度の認定を受け、各園の地域における資源(地域の伝統芸能、文化活動、農林業体験等)を活用した保育を提供します。 ○一部の公立認定こども園を、民間活力を導入して自然保育に特化した園にすることにより、市の自然保育の取組みの一層の推進を図ります。 ○民間の信州やまほいく認定園(認可外保育施設)の運営費に対する補助金を交付し、運営を支援します。 ○認可外保育施設の信州やまほいく認定園を利用していることにより、国の幼児教育無償化の対象から外れてしまう子どもに対して、国の無償化制度と同等の軽減が受けられるように、長野県と協力して保護者が負担する利用料に対して補助金を交付します。 ○興味・関心が持てる児童館事業の受入体制の見直しとともに、民間の子育てサークル等に対して、会場の利用料減免や利用率の低い施設等の自由開放、活動に対する助成制度の創設等可能なものから取組みを進めます。
		3	③安心して出産し子育てできるまちをつくる	6	出産・子育て 支援の充実	20	健康推 進課	乳幼児健診平 均受診率(%)	健康推進課調	98.6	0.4	受診 率 99% を維 持	受診 率 99% を維 持	受診 率 99% を維 持	受診 率 99% を維 持	受診 率 99% を維 持	健康推 進課	○安心して妊娠・出産・育児ができるよう、相談窓口や産後ケア、健診・訪問・相談等の母子保健事業の実施と関係機関との連携により、切れ目ない支援体制の充実に取組みます。
		3	③安心して出産し子育てできるまちをつくる	6	出産・子育て 支援の充実	21	生涯学 習課	放課後児童ク ラブの6年生ま での受入れ拡 大(R1時点、4 年生まで利用 可)(小学校 数)	生涯学習課調	0	1	0	0	1	0	2	生涯学 習課	○現在4年生までを対象としている放課後児童クラブについて、小学校の余裕教室の活用検討等により、5、6年生までの利用拡大に取り組めます。
		3	③安心して出産し子育てできるまちをつくる	7	労働・雇用対 策の推進	22	商工労 政課	松本ハロー ワーク管内若 年層就業率	松本公共職業 安定所	P	P	P	P	P	P	P	商工 労政 課	○若年者層の経済的安定を確保するために、就労先として受け入れ可能な事業者を見出し、実践型の業務研修を行い正社員化を図ります。



第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 体系(案)

◎総合戦略(本体)は本表内容を転記・調整の上、作成いたします(ただし、「冒頭の総論部」及び基本目標毎の取組方針「基本的方向性」は政策部で追加掲載)

◎体系としては、【①基本目標 > ②基本的方向性(基本目標毎の総論部) > ③主要施策・KPI > ④具体的取組(関連のある個別計画も記載)】を予定しています。

検討状況		①基本目標	③主要施策	③KPI(重要業績評価指標)											④具体的取組(事業)		
○×△	理由	基本目標ナンバ ①新たな雇用を生み出す ②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する ③安心して出産し子育てできるまちをつくる ④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	主要施策ナンバ 主要施策	KPIナンバ	KPI担当課	KPI	成果指標の出典等	各年度目標値							事業担当課	KPI達成に向けた具体的な取り組み	
								事業開始前(基準値)	R2実績(1年目)	R3実績(2年目)	R4実績(3年目)	R5実績(4年目)	R6実績(5年目)	5か年累計			
		④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	◆基本目標④のKPI◆	23	政策経営課	安曇野市に住みたいと思う市民の割合(%)	市民意識調査	#####	増加	増加	増加	増加	増加	増加	増加		
		④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	8	協働によるまちづくりの推進	24	地域づくり課	区への加入世帯数(世帯)		28,989	61	50	50	50	50	261	地域づくり課	○区への加入促進 マスコットキャラクター使用により幅広い世代への浸透を目指す。 区長会等による情報発信に努め理解促進に努める。 ○市民活動サポートセンターにおける取材の推進及び交流の拡大 交流会の開催・通信の発行により団体相互の交流を促進する。
		④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	8	協働によるまちづくりの推進	25	地域づくり課	市民活動サポートセンターにおける活動団体取材件数(件)		9	50	50	50	50	50	250	地域づくり課	○市民活動サポートセンターにおける取材の推進及び交流の拡大。 交流会の開催・通信の発行により団体相互の交流を促進する。
		④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	8	協働によるまちづくりの推進	26	危機管理課	地区防災訓練の実施率		69	1	70%以上を維持	70%以上を維持	70%以上を維持	70%以上を維持	70%以上を維持	危機管理課	○地域自主防災組織が担う共助の強化 ○地区防災会議での継続的な支援 ○自主防災組織への訓練や、防災計画策定のための個別相談の実施
		④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	9	秩序あるまちづくりの推進	27	都市計画課	立地適正化計画の推進による「居住誘導区域内の新築件数割合」(%)		(区域内:区域外) 39:61	割合の増加	割合の増加	割合の増加	割合の増加	割合の増加	割合の増加	都市計画課・政策経営課	(都市計画課) ○駅や支所を中心としたコンパクトなまちづくりと、生活の利便性向上のため、駅の利便性向上を図ります。 (政策経営課) ○公共交通のあり方を検討します。
		④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	10	スポーツ活動の充実	28	総合体育館建設推進課、生涯学習課	スポーツを楽しめる環境が概ね整っていると思う市民の割合		28.5%	増加	増加	増加	増加	増加	増加	生涯学習課	○令和3年10月竣工予定の新総合体育館の管理運営形態については指定管理者制度の導入を予定し、幅広い世代の多様なニーズに応えるため、民間のノウハウや知識を活かした教室やイベント等を開催し、効果的・効率的な施設管理及び運営を図ります。また、市民が日ごろから健康・体カづくりを実践できるよう、トレーニング室兼多目的利用室等の有効活用を指定管理者に依頼します。
		②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	10	スポーツ活動の充実	29	政策経営課	自転車活用推進計画の策定検討		未着手	検討	検討	結論(策定)	計画推進	計画推進	策定・推進	政策経営課	○サイクリングコースの設定(市内のコース検討、県や近隣自治体と連携した広域的なコース検討) ○コース設定後のイベント開催 ○松本大学と連携し、自転車利用による健康への効果検証 ○自転車活用推進計画の活用